






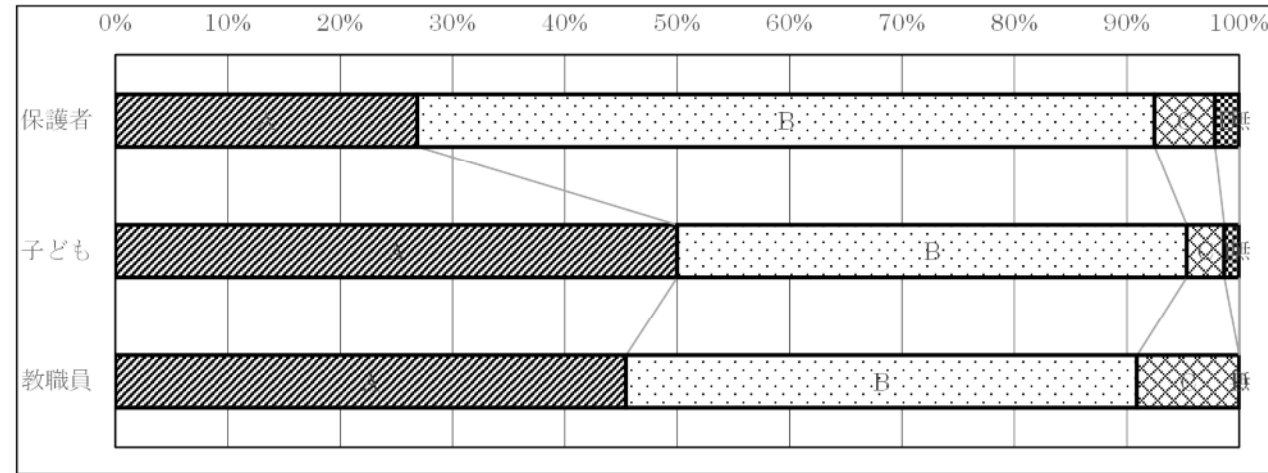


A=できている 
 B=どちらかといえばできている 
 C=どちらかといえばできていない 
 D=できていない 
 無=無答 

落ち葉が風に舞う季節となりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、10月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。アンケート結果につきまして昨年度と同様に、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似通っているのかを紹介させていただきます。

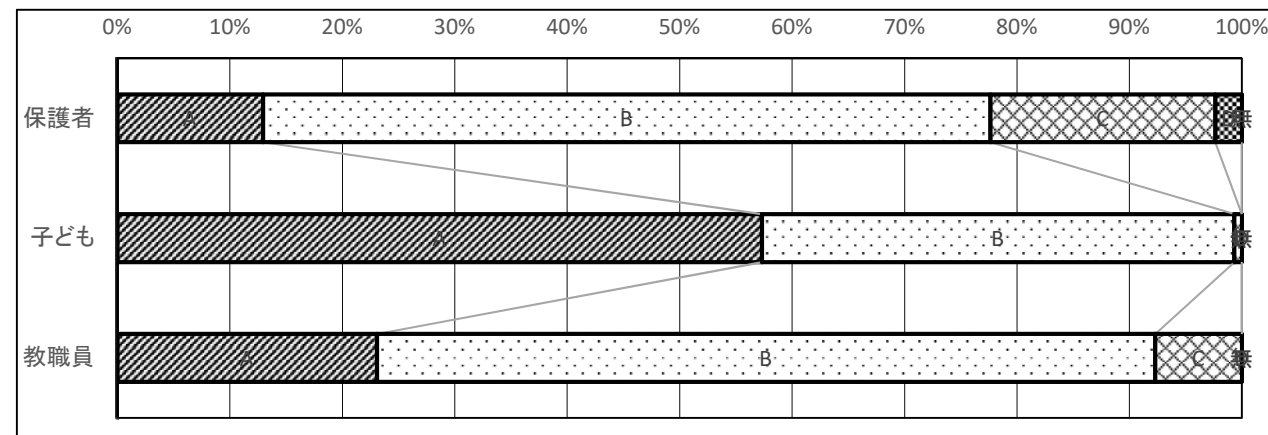
また、昨年度から Microsoft Forms でご回答いただくというシステムを導入しています。今後もこの方式を続けていきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

- ① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。
 (保護者)
 毎日の授業はよくわかる。(児童)
 教材研究・教材作成に努め、一人一人に
 分かる授業を工夫している。(教職員)



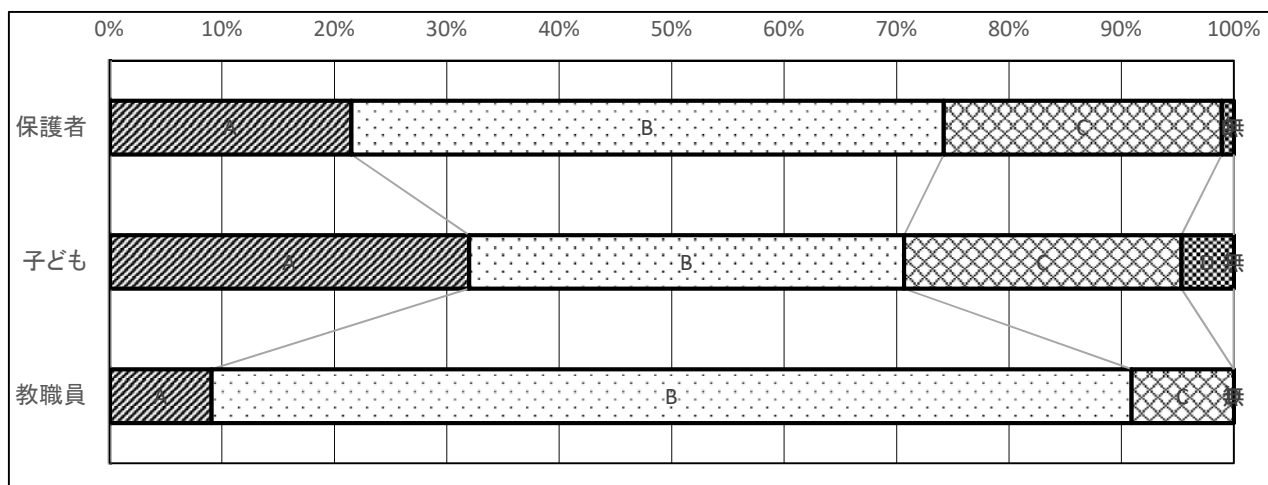
昨年の前期と比べて、保護者と教職員の数値がやや下がっています。理想を言えば、教職員には全員がAと答えられることを望みたいところです。
 また、保護者の方からのCやDの評価はなくさなければいけません。その理想に向かって、校内研修の充実や教材研究の時間確保を図っていきたいと考えています。

- ② 子どもは人の話をしっかり聞いている。
 (保護者)
 授業中人、の話をしっかり聞いている。
 (児童)
 子どもたちはしっかり話を聞き、
 意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



昨年の前期と比べて、児童と教職員の評価が上がっていますが、保護者の評価は下がっています。子どもたちは、コロナ禍での環境にも慣れ、落ち着いて学習している様子が見えます。「聴く力」は学習の基礎となる力なので、引き続きしっかりと身に付けていけるようにしていきたいと思います。

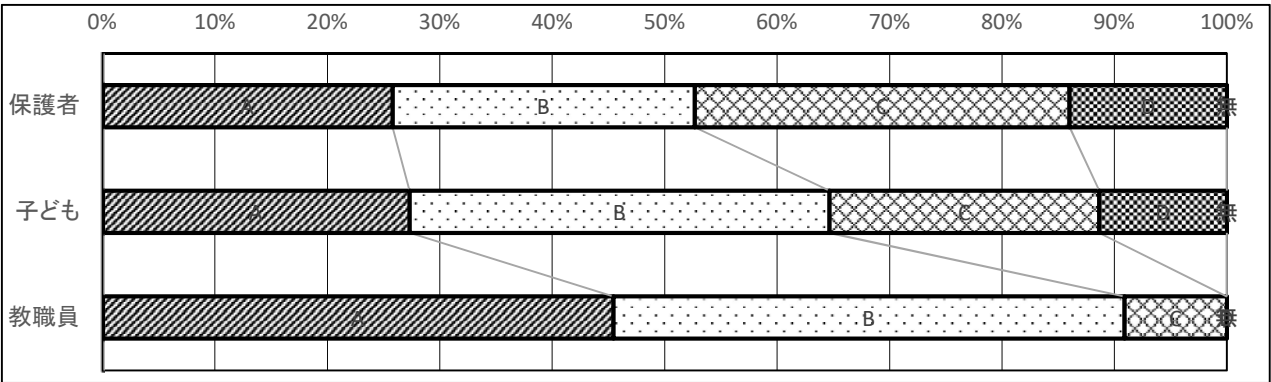
- ③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している。
 (保護者)
 自分の思ったことや考えたことを発表している。
 (児童)
 子どもたちは相手に伝わるように自分の考えや思いを発表できている。(教職員)



昨年の前期と比べて、児童と教職員の評価が上がっていますが、保護者の評価が下がっています。
 ICTの活用で、発言の根拠となる資料は集めたり整理しやすくなったりしています。ただ、マスク越しで、表情がとらえにくく、会話が弾みにくい面があります。
 将来的にプレゼン力は、つけておきたい力の一つなので、自分の考えを的確にまとめる文章力、それを相手に分かり易く伝えるための表現力の育成にも力を入れていきたいと思っています。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。
(保護者)
家でも読書している。(児童)

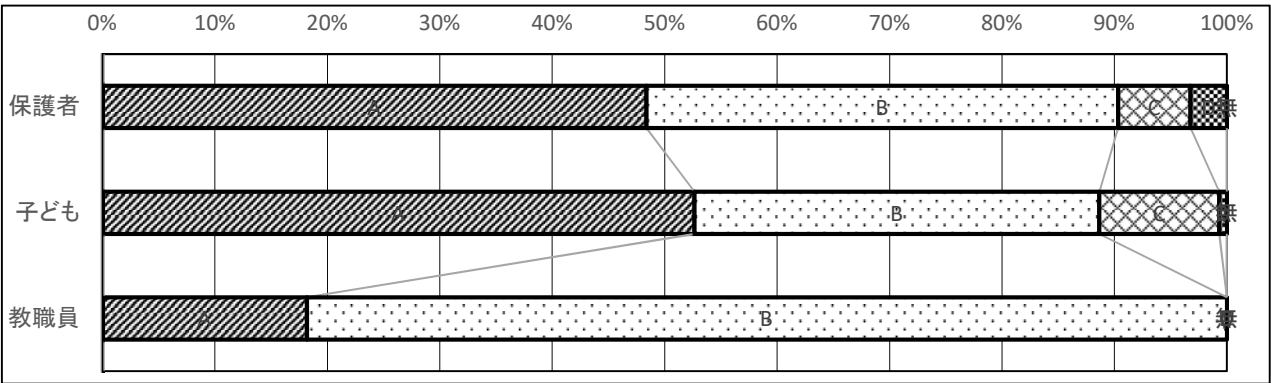
おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになっている。(教職員)



⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)

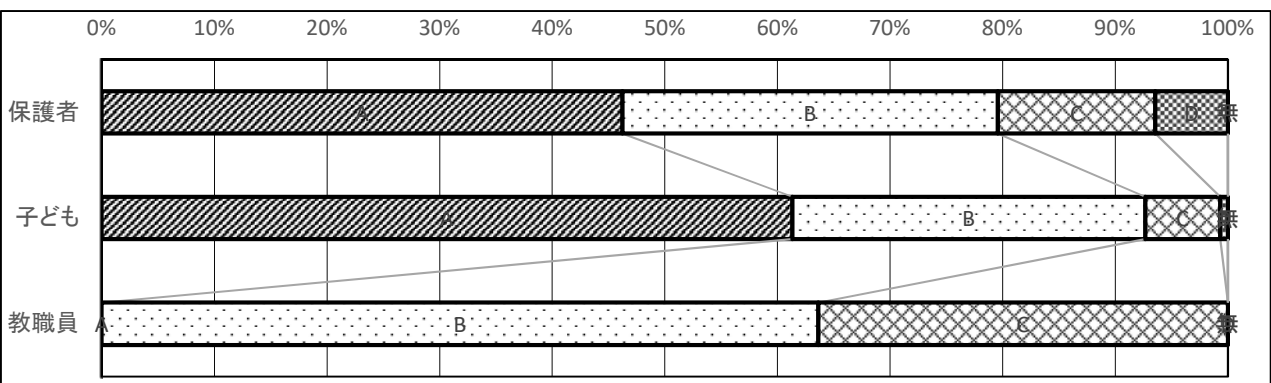
家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)

家で宿題や復習などができている。(教職員)



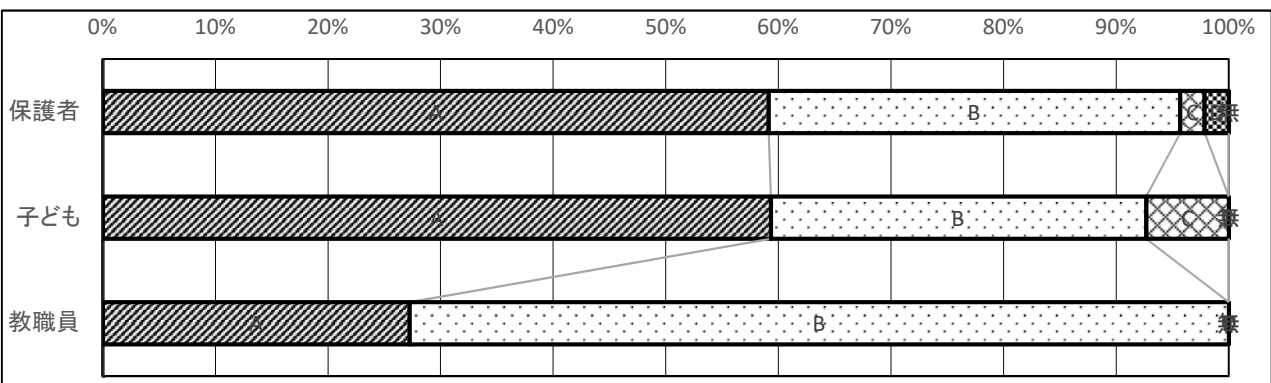
⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。(保護者)
次の日の準備をきちんとできている。(児童)

子どもたちは忘れ物をせず、学習の用意ができている。(教職員)

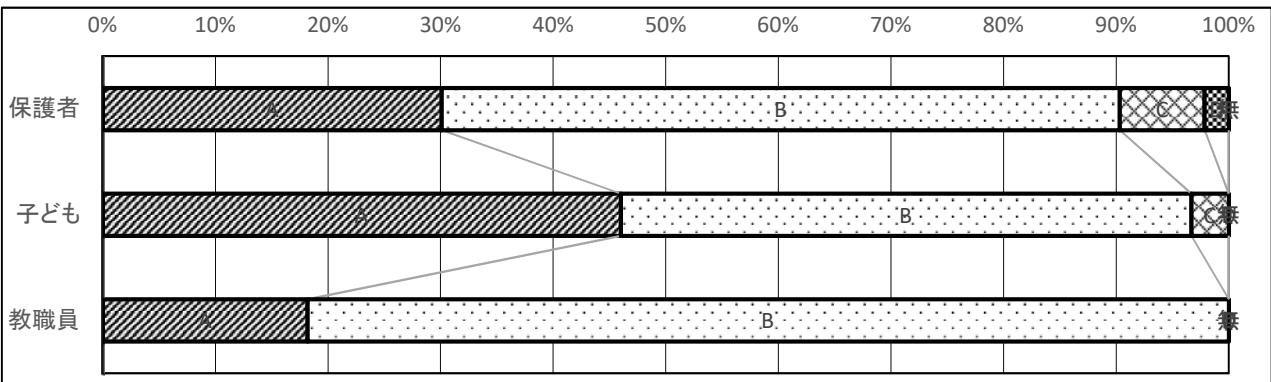


⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。(保護者)
毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しいと思っている。(教職員)



⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。(保護者)
学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)
子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)



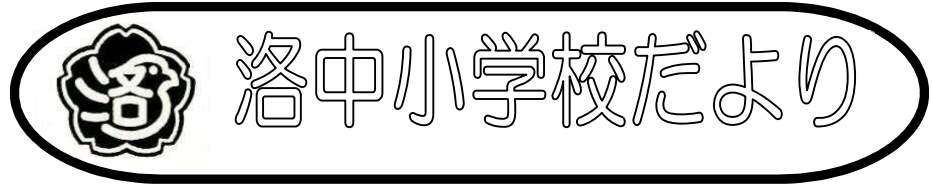
昨年と比べて、児童の評価が下がり、保護者の評価が上がっています。家庭での読書の時間は短くなってきている傾向にあるのかもしれませんが。学校では、選書会やお話玉手箱、積極的な図書館利用など子どもたちに、本に親しむ場を数多く設定しています。また、読書の時間が増え、間接的に、SNS やゲーム、動画視聴の時間が減ります。思考力、想像力、発想力を培う上でも、読書の時間を増やしたいものです。

昨年度の前期と比べると、児童と教職員の評価が下がっています。自学自習、生涯学習の観点からも、家庭での学習習慣の確立は欠かせません。授業では、友達と話し合いながら新しい考え方を学んでいきます。そのため、授業時間で行う問題数は限られています。新しい考えを身に付けるためには類似問題をたくさん解くことが必要です。そういう意味で、家庭学習は学力の定着を図る上でとても大きな役割を果たしています。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

昨年と比べると、児童の評価が上がっています。高学年になると、タブレットの充電も加わり、事前の準備は欠かせません。忘れ物があると、学習に支障をきたします。また、自学自習の観点でも自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。また、教職員の A 評価が0%であることについて、(子どもや家庭の責任だと考えず)それぞれの原因や事情をしっかりと把握して必要な支援を考えていきます。

昨年と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。やはり児童にとって、たくさんの友だちとかかわれる学校生活は、基本的には楽しいものです。また、学びの喜びや行事の達成感など、学校でしか経験できないことがたくさんあります。教職員については、日によって登校しにくい子どもがいることが低めの数値に表れていると思います。そんな子どもの気持ちを受け止め、困りを解決していく取組を進めていきます。

昨年と比べると、児童、保護者、教職員すべての評価が上がっています。きまりをしっかり守れるところが、洛中の子どもたちのよいところ。ただ、依然として気になるのが、廊下を走っていたり、必要以上に大きな声で話しながら歩いたりする児童がいることです。学級指導を定期的に行っていますが、なかなか良くならないことが後期に向けた課題です。



令和4年度 臨時号②

アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけると、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後ともご協力下さい。よろしくお願いいたします。

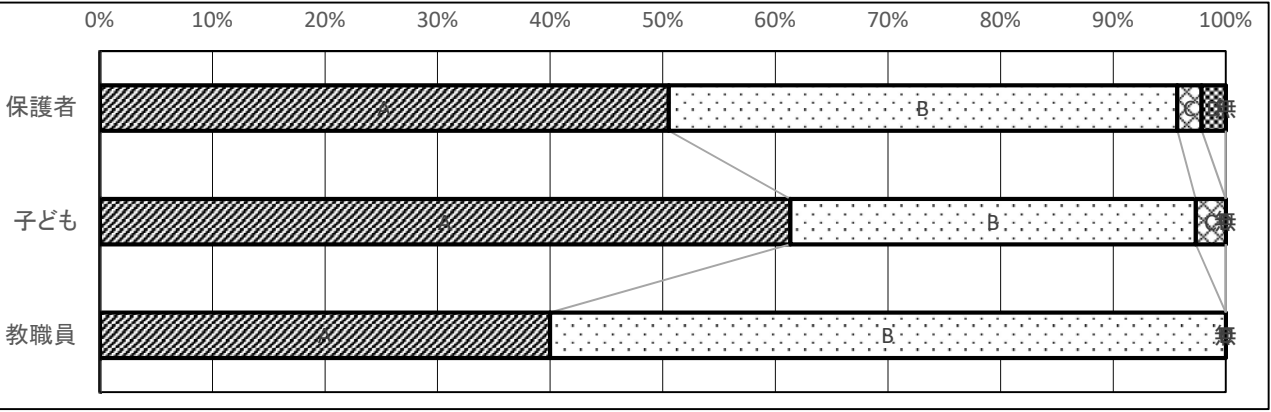


⑨ 子どもは友達に優しくできている。

(保護者)

優しい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)

いじめや仲間外れのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)



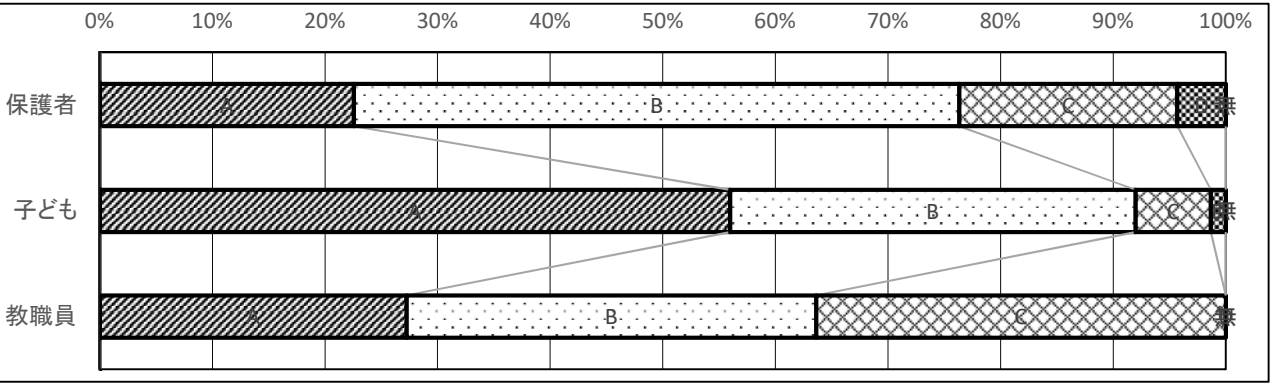
昨年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。また、いじめアンケートにおいても昨年度よりも良い結果が出ています。アンケートで、困りを抱えている児童にはすぐに担任が個別に話を聞き、早期解決に努めています。今後も、友達の良いところを見つけていこうと支援していくとともに、いじめや仲間外れのないクラス作りを継続していきます。

⑩ 子どもは自分からあいさつができている。

(保護者)

友だち、先生、地域の方に自分からあいさつしている。(児童)

子どもたちは元気にあいさつができるようになってきている。(教職員)

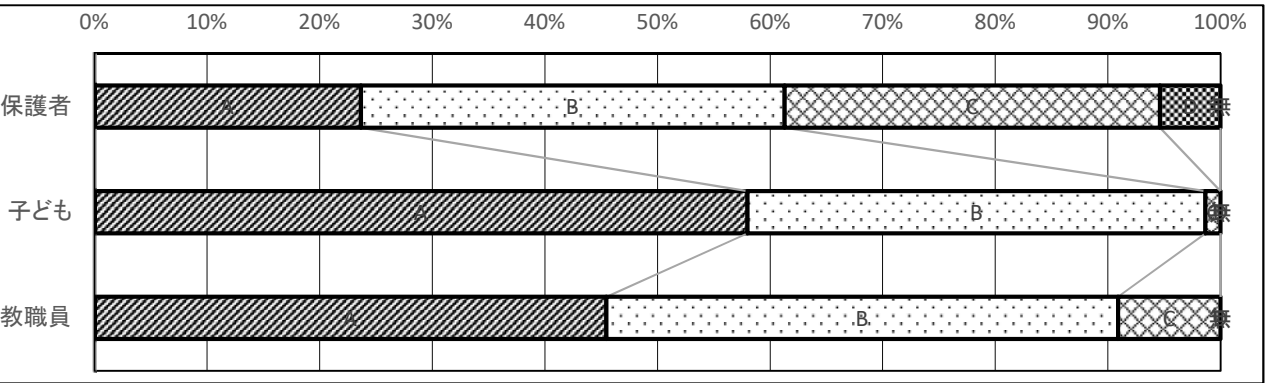


昨年の前期と比べると、児童と教職員の評価が下がっています。以前から課題のある項目です。マスク越しということもあり、より挨拶がしにくくなっている面があります。ただ、元気な挨拶はコミュニケーションの基本です。社会人になっても求められる能力の一つです。今後も、周りの大人が手本を示しつつ、継続的に指導をしていきます。

⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)

掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)

子どもたちは当番活動や係活動をきちんとしている。(教職員)

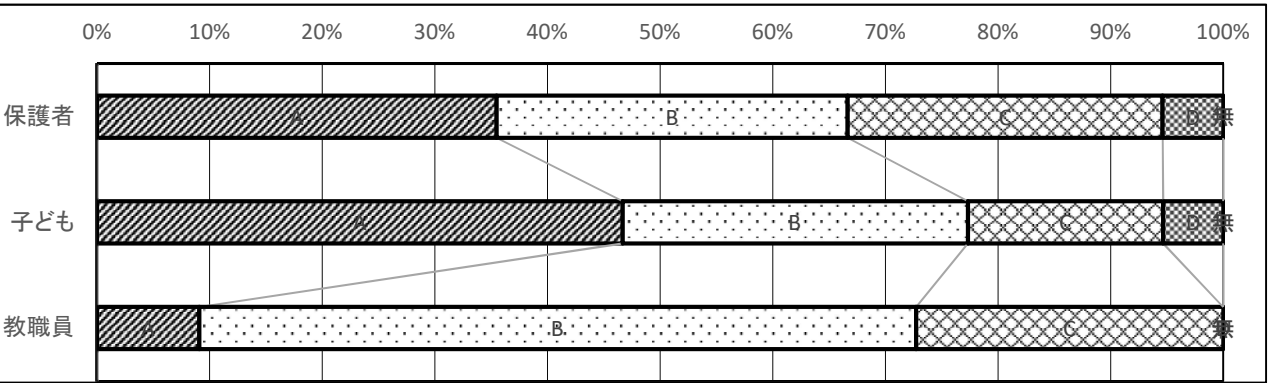


昨年の前期と比べると、保護者の評価が下がり、児童と教職員の評価が上がっています。保護者の評価をみると、約3分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。学校では、子どもたちは、自分に与えられた役割をしっかりと果たしています。担任はその様子を誉め、子どもたちはやりがいを感じ、自己肯定感が育ってきます。

⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)

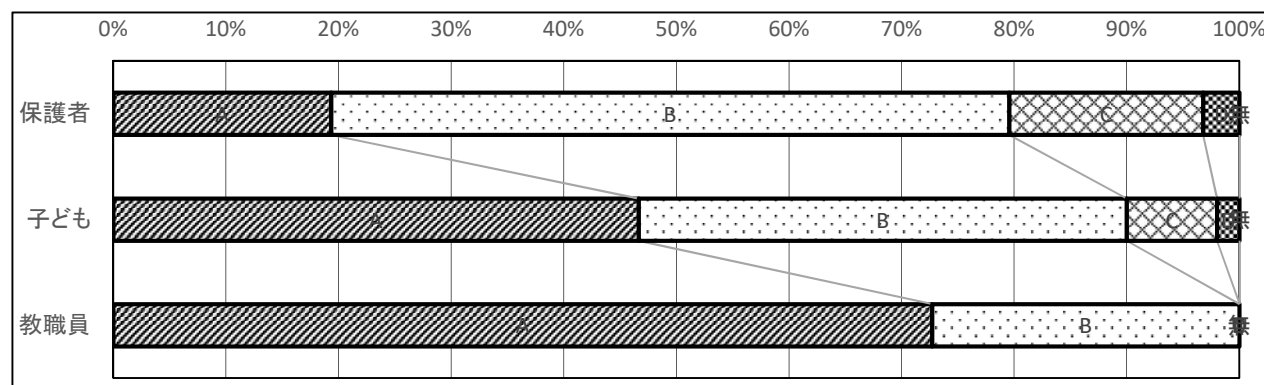
進んで外で体を動かしている。(児童)

体力向上の取組を進めている。(教職員)

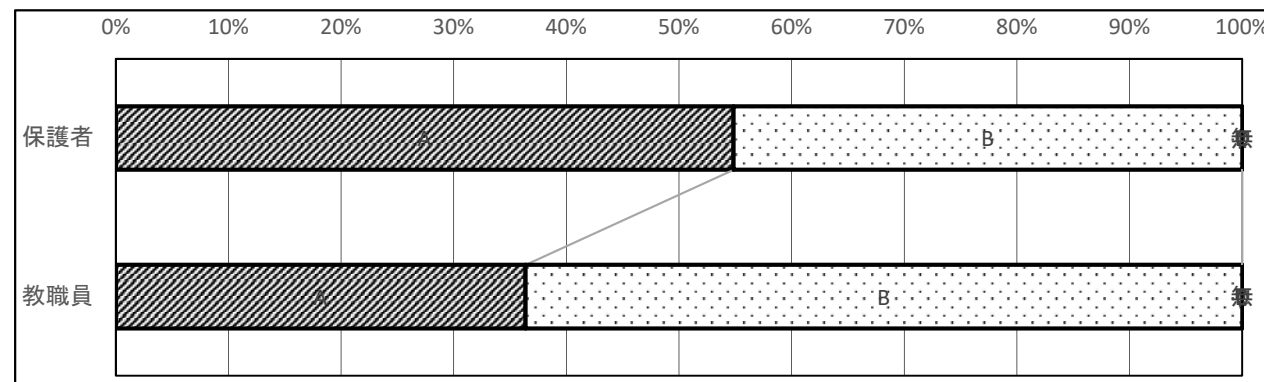


昨年の前期と比べると、保護者と教職員の評価が上がり、児童の評価が下がっています。新体力テストの結果は、全市的に見ると、良いほうの部類に入っています。ただ、全校の半分の学年で、50m走が全市平均を下回っています。この現状を受けて学校では、体育の授業で、準備運動で走る機会を作ったり、学級のみんな遊びを充実したりするようにしていきます。

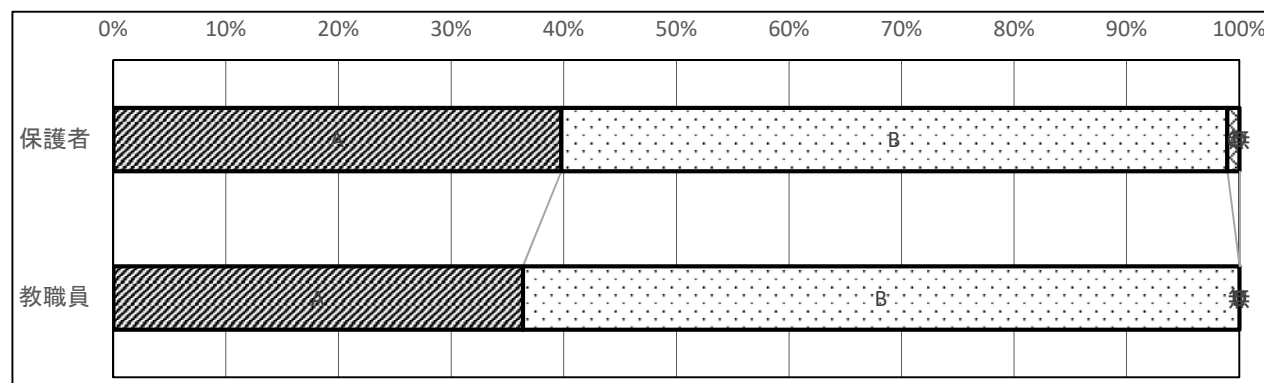
- ⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。
(保護者)
好き嫌いなく楽しく食事をしている。(児童)
給食についての指導が計画的にできている。
(教職員)



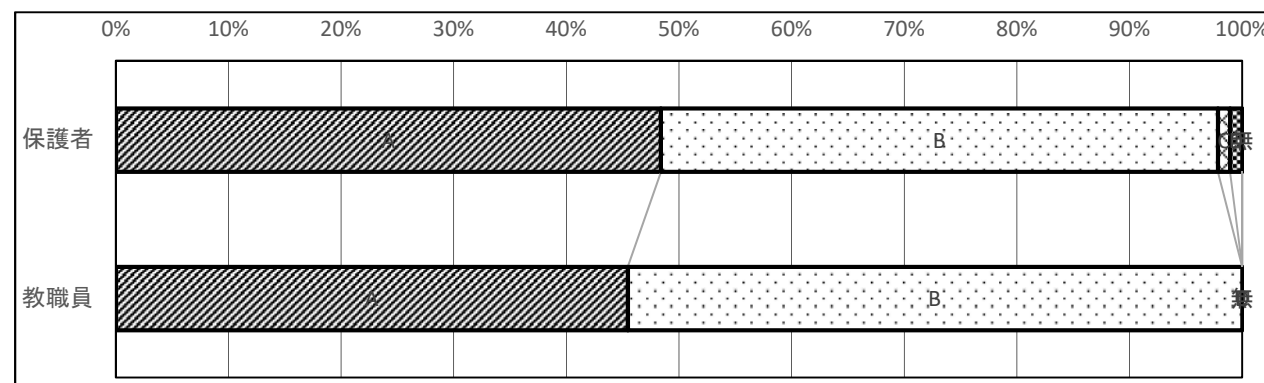
- ⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。
(保護者)
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、
気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



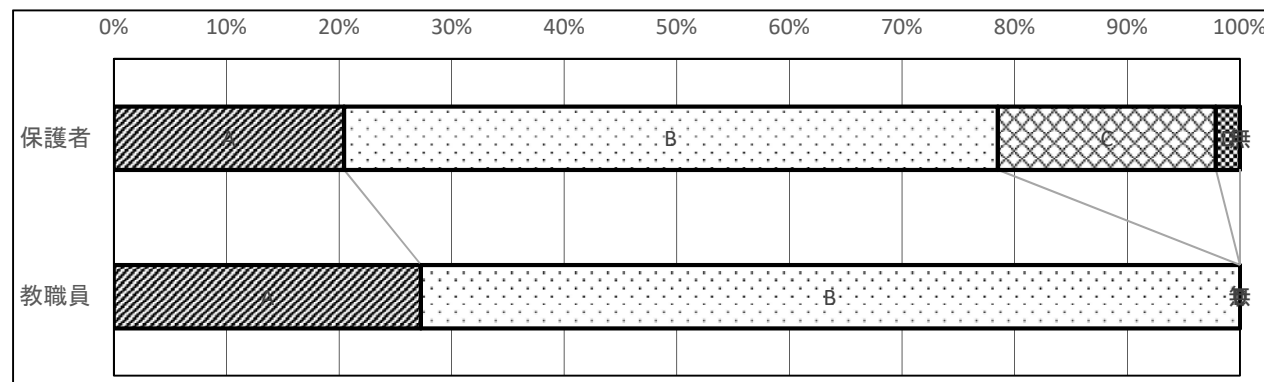
- ⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を
育てる活動に取り組んでいる。(保護者)
子どもたちに思いやりのあるやさしい心が
育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



- ⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、
ホームページなどでよくわかる。(保護者)
学校情報の発信ができている。(教職員)



- ⑰ 学校行事やP T A行事等に参加するように
している。(保護者)
様々な取組や行事を通して、学校・家庭・
地域が連携し、子どもの教育にあたっている。
(教職員)



昨年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。
給食では、コロナウイルス感染症対策を含め、安全に安心して給食を
喫食できるよう給食の運営を行ってきました。好き嫌いなく楽しい食事
となるようこれからも日々の給食指導や食の学習に取り組んでいきま
す。おたより等で児童の様子や食に関する情報を発信していきますの
で、ぜひお子様と読んでいただき、より一層食への興味関心につなげ
てください。

昨年の前期と比べると、保護者の評価が上がっています。
コロナ前のように、家庭訪問等、直接顔を合わせてお話をする機会が
減っています。その分、お電話や連絡帳を通じて丁寧な対応を心がけ
たいと考えています。
今後も、子どもたちの良いところを伸ばし、気になることを共有するた
めにも、気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいますよう
お願いいたします。

昨年の前期と比べると、教職員の評価が下がっています。学校全
体が落ち着いた雰囲気にあるので、子どもたちの本来の心のやさし
さが、表に出やすい状態になっていると思います。ただ、細かく見て
みると、「実践力」の面で課題が見られました。多くの児童がやさしい
気持ちを持っているのですが、いざ実践するとなるとその行動に物
足りなさを感じる場面もあります。今後も、子ども一人一人の様子を
よく観察し、タイミングの良い声かけ等を行い、実践力を伴う思いや
りのある優しい心を育てていきます

昨年の前期と同様、保護者の評価が上がっています。
ホームページについては、どの学年も毎週1回以上は更新するよ
うにしています。
今後も、行事や日常の授業の様子など、より一層伝えていきたい
と考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

昨年の前期と比べると、保護者、教職員とも評価が下がっていま
す。ただ、交通安全協議会主催のサイクリングや、PTA 主催の洛中
フェスティバルなど、コロナ禍で制約がある中にもかかわらず、子ど
もたちのために楽しい行事を企画していただいています。
また、洛中フェスティバルでは、ボランティアスタッフとして、お手伝
いしていただける方を募集されたところ、たくさんの保護者の方が応
募してくださるなど新しい試みもしていただきました。